

洪水予報及び水防警報

江の川(上流)では梅雨期や台風などの大雨により洪水の恐れがある場合に国土交通省三次河川国道事務所と広島地方気象台が共同して洪水予報の発表を行っています。

洪水予報の対象区域は国土交通省三次河川国道事務所の管理区間全域としています。また、水防法に規定する水防警報発令河川にもなっており、雨量・水位観測施設からの情報を収集し、レーダー雨量計による監視を行って災害防止のための予警報を行っています。

●洪水予報・水防警報実施区間及び観測所諸元表

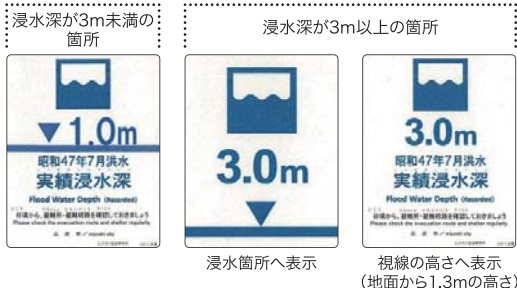
河川名	水位又は流量の予報に関する基準地点	流 路	(単位:m)					
			吉田	粟屋	尾関山	神野瀬	南畑敷	三 次
江の川幹	吉田/粟屋/尾関山	左岸 118.2km~179.0km L=60.8km 右岸 106.1km~179.0km L=72.9km	191.80	149.00	144.14	156.24	154.38	152.51
神野瀬川	神野瀬	0.0km~5.5km L= 5.5km	7.59	10.20	13.36	7.84	7.42	7.13
馬洗川	南畑敷	0.0km~5.8km L= 5.8km	6.50	6.50	9.50	5.50	6.00	6.50
西城川	三 次	0.0km~1.3km L= 1.3km	6.50	6.10	8.90	5.10	5.60	6.10
			5.90	5.60	8.00	4.50	4.40	4.00
			4.60	4.50	6.00	3.50	3.50	3.00

まるごとまちごとハザードマップ

江の川水系では、昭和47年7月に未曾有の大水害に見舞われました。その洪水の恐ろしさを後世に伝えるため、三次市内を中心に浸水深等の洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に被災水位板を設置しています。

「まちなか」に設置することにより、日常時には洪水への意識を高めるとともに浸水深・避難場所等の知識の普及を図り、災害時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、洪水による被害を最小限にとどめることを目的としています。

●更新後の被災水位板



三次市役所前

河川防災ステーション

三次市の市街地は、過去幾度となく大水害に見舞われ、水防活動の拠点が必要とされてきました。河川防災ステーションは、水防活動の拠点、地域の皆様の避難場所として利用できる施設です。同ステーション内には三次出張所、三次市防災センターも設置されており、水防のみならず、地震発生時の対応等、災害全般に対する活動をより円滑に行うことができます。



河川防災ステーション

地域の災害に対する備えの強化等の支援

防災情報提供ページの構築

事務所ホームページでは、災害時に地域の方が避難の必要性を判断するための情報や避難にあたって必要となる知識・情報について「防災情報提供ページ」にて情報提供しています。



江の川氾濫シミュレーションなど川の防災情報

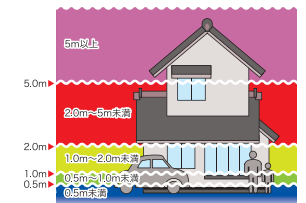
洪水による浸水被害への認識を深めていただくとともに、自らの生命、財産は自らの適切な行動で守る心構え(自助)をもっていただき、もしもの際にも被害を最小限にとどめることを目的に、事務所ホームページでは、川の防災情報として、「江の川浸水想定区域図」、「重要水防箇所」、「江の川氾濫シミュレーション」を情報提供しています。



三次地域のA地点の堤防の決壊後180分の様子



公開区域



浸水の目安

ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>